

2026 年 6 月 22 日

ホーム伊丹ゆうあい 運営推進会議 報告書

事業所名称…看護小規模多機能型居宅介護ホーム伊丹ゆうあい

サービス種類… 看護小規模多機能型居宅介護

会議開催日…令和 8 年 6 月 22 日

開催場所…看護小規模多機能型居宅介護 ホーム伊丹ゆうあい 2 階

出席者	○伊丹市法人監査課	西川様
	○伊丹市地域包括支援センター	福島様
	○鶴田地区民生委員	榎木様（欠席）
	○ホーム伊丹ゆうあい	管理者 谷口
		看護師 大橋
		看護師 木田
		介護士 後藤
		ケアマネジャー 箱谷

議事

活動状況報告

① 活動報告

- ・登録人数 19 名（5 月末）
- ・介護度 平均介護度 2.21
 - 要介護 1 5 名
 - 要介護 2 8 名
 - 要介護 3 4 名
 - 要介護 4 1 名
 - 要介護 5 1 名

平均介護度は低くなってきている。

リハビリ強化：個別リハビリメニューを作成実施しており、個別リハビリ、集団リハビリ、脳トレの効果も見られていると考えます。リハビリ強化により車椅子から杖歩行、歩行器から杖歩行になったケースも見られております。

登録者は減少傾向にあり、状態悪化により利用終了となった方も多い。

- ・フロアクッキング（お寿司、焼きそば、鉄板焼きなど）



- ・元 OSK 歌謡ショー開催



- ・カラオケ大会&オカリナコンサート



- ・屋外レク（お花見、バラ公園、スカイパーク）





- ・ 5 月 21 日自衛消防訓練実施。
今年度 1 回目。部分訓練（消火、避難訓練）。
- ・ 小多機との連携：あそか苑ももは見学。運営状況の共有。今後の連携。
- ・ 第 17 回日本プライマリ・ケア連合学会「在宅生活の継続に向けた支援」
E ポスター発表。

② 安全対策

- ・ インシデント 28 件、アクシデント 3 件（1 月～5 月）
- ・ 転倒 3 件、座り込み 1 件、内服関連 6 件、業務内容ミス 6 件、その他 6 件、ヒヤリハット 6 件、スキンテア 3 件
- ・ 転倒の 1 件に関しては、入浴時の転倒にて肋骨骨折、保存的加療に至った。原因分析を行い、マニュアルの修正、滑り止めマットを増やし、評価行っております。

③ 感染対策

（1 月～5 月）

- ・ 新型コロナウイルス スタッフ 0 名、利用者 0 名
- ・ インフルエンザ スタッフ 0 名、利用者 0 名
- ・ スタッフ家族のインフルエンザ罹患はあったが、予防内服にて感染拡大なし。

④ その他

- ・ 立地条件からも伊丹市と宝塚市の境にあり、またあおい病院を母体としており、東宝塚さとう病院とも密接な関係にもあるため、退院後に看多機利用となるケースに関して、現状ほかのサービスの選択となる。広域利用の申請も今後ご相談していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

・看多機サービスでできた看護師-介護士の連携について、認知症でインスリン使用している利用者様2名について、利用開始前後は訪問看護のみの対応であったが、ミーティングでの糖尿病、インスリンや訪問介護でできることの周知を行い、自己注射できる方には訪問介護での見守りも含め、訪問看護2割、訪問介護8割程度の訪問でサービス移行できた。

看多機は月額報酬で経済的にも利用継続できなくなるケースもあるので、自立支援の継続、他のサービスにも移行できるような関わりは今後も継続していきたい。

⑤ 地域からのご意見

・伊丹市法人監査課 西川様

報告の内容からも、要介護が軽減されたりすることは利用者様の事を考えて接していただいていることが分かり感謝しています。

利用者様によっては、個性もありリハビリ拒否などもあるかと思うが、その方の個性をとらえてリハビリを継続していると感じます。

・伊丹市地域包括支援センター 福島様

同じく報告の内容から取り組み頑張っていただけだと思います。

広域申請については、他市から広域申請の依頼があつて申請するのではなく、登録者が増加しないために広域申請するのは、本来の地域密着型サービスの本質から外れてしまう。伊丹市内でも登録者を増やせないか検討してみても良いのではないかと考えます。

※事業所確認欄

☐活動報告についての評価を受けることができたか。・・・はい

☐要望・助言等受ける機会を設けたか。・・・・・・・・・・・はい